（様式１）

## **全方位・挑戦的融合イノベーター博士人材養成プロジェクト**

## **選抜試験 申請書**

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| **学生証番号** | ※1 | フ リ ガ ナ氏　　　　名 |  |
|  |
| ローマ字氏名 |  |
| 　生年月日（西暦） | 　　　　年　　　月　　　日生月日生 |
| **専攻・コース名****学年****（令和6年4月時点****見込みで記載）** | 専攻 | コース名または領域 | 学年 |
| **指導教員****所属・氏名** | （所属） （氏名）（メールアドレス） |
| **現　住　所** | 〒　　（　　　－　　　）　 |
| **連絡先** | メールアドレス　自宅 TEL　　　　（　　　）　　　　　　　　　携帯 TEL　　　　（　　　） |
| **履**※2**歴****事****項** | **学歴**※3 | 年　　月　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高等学校卒業 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| **職歴** | 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| 年　　月　 |
| **試験・入学等に関する通知場所** | 〒　　　　　（　　　－　　　）メールアドレス　　　　　　　　　　　　　　TEL　　　　（　　　）※現住所と連絡先が異なる場合のみ記入してください（） |

（注）※1 令和６年４月入学予定の者は，学生証番号の記載は不要ですが、本学からの進学者については、現在の(修士)

学生証番号を記入してください。

※2.履歴事項（学歴・職歴等）はもれなく記入してください。

※3.学歴は高等学校卒業から記入し学士課程入学・卒業，修士課程入学・修了見込みの順で，令和６年４月時点

（博士課程入学（見込み）まで記入してください。

|  |  |
| --- | --- |
|  | ●日本学生支援機構からの貸与型奨学金 ： □ 申請中（予定）　□ 有　□ 貸与型以外の奨学金●日本学術振興会特別研究員（DC）への応募・採択状況 ：□ 採 択 （ 　年　 月より採用予定） □ 補 欠□ 応募中　　　　　　　　　　　　　 □ 応募予定●TF の雇用状況 ： □ 雇用中 （雇用期間 　月まで）●TA の雇用状況 ： □ 雇用中 （雇用期間 　月まで）●RA の雇用状況 ： □ 特別RA 　□ 研究RA　　□ 卓越RA　　□ その他のRA●アルバイトの雇用状況 ： □雇用中 （雇用期間 　月まで）●その他に受給している奨学金等（複数件ある場合は，別紙に記入してください）機関名： 名称：受給期間 ※4： 　　　 受給金額 ：　辞退届の提出： 　　　　　　　　提出済 ・ 未提出　併給の可否について不明な場合は、学生支援課もしくは留学生課にお問い合わせください。 |
| **給与所得の有無****☑を付ける** | ●企業等から，本プロジェクト生となったのちも生活費相当額として給与等の安定的な収入を得ているか。　（240万円/年を基準とします。）：　　　　　□有　　　　□ 無　 |
| **今後の希望する進路に☑を付ける** | ●大学院修了後の希望する進路に一つ印をつけてください。□アカデミア　　□官公庁　　□企業　　□起業　　□海外　　□その他 |

（注）※4.受給期間は、受給可能な期間（複数年受給可能であれば、その期間）を記入してください。

（様式１）

|  |  |
| --- | --- |
| **研究課題名**（40字以内） |  |

|  |
| --- |
| **１．【研究計画】** |

 **（1）研究目的・方法・内容**

*（※）本行を含め，以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*※研究計画は，チャレンジングな研究が高く評価されるとともに，これにより研究費の配分が決定されます。*

*なお，選抜後，合格者は研究費の費目を記入する研究計画書の提出が必要となります。*

*※取り組む研究計画における研究目的，研究方法，研究内容について記入してください。*

*※適宜概念図を用いるなどして，わかりやすく記入してください。*

 *※各事項の字数制限はありませんが，（2）の問いも含め全体で1頁に収めてください。様式の変更・追加は不可。*

*※フォントは，ＭＳ明朝（10.5pt），英語で作成する場合はCentury（10.5pt）で記入してください。*

**（2）研究の独自性・チャレンジ性**

*※上記に記載した研究の学術的独自性・チャレンジ性（先行研究等との比較，本研究の完成時に予想されるインパクト・波及効果　等）について記入してください。*

（様式１）

|  |
| --- |
| **２．【研究業績】** |

*（※）本行を含め，以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*※各事項の字数制限はありませんが，全体で****半頁****に収めてください。様式の変更・追加は不可。*

*※フォントは，****ＭＳ明朝（10.5pt），英語で作成する場合はCentury（10.5pt）****で記入してください。*

*申請者を含む全員の氏名を，論文等と同一の順番で記載すること。題名，雑誌名や学会名，巻号，最初と最後の頁，発表年(西暦)，査読の有無を記載すること。申請者にアンダーラインを付すこと。（発表予定のものは除く。ただし，発表申し込みが受理されたものは記載してもよい。）*

1. *学術雑誌等に発表した論文又は著書*
2. *学会等における発表（口頭・ポスター，場所，月・年，発表者に◯印を記載すること）*
3. *受賞等*
4. *芸術分野における創作活動*
5. *ボランティア活動*
6. *その他の特筆すべき活動*

|  |
| --- |
| **３．【研究遂行力の自己分析】** |

*※）本行を含め，以下の斜体で記した説明文は申請書を作成する際には消去してください。*

*※字数制限はありませんが，全体で****半頁****に収めてください。様式の変更・追加は不可。*

*※フォントは，****ＭＳ明朝（10.5pt），英語で作成する場合はCentury（10.5pt）****で記入してください。*

*当該分野における「研究に関する自身の強み」について，これまで携わった研究活動における経験などを踏まえ，具体的に記入してください。*

*記入にあたっては，例えば，研究における主体性，発想力，問題解決力，知識の幅・深さ，技量，コミュニケーション力，プレゼンテーション力などの観点から，具体的に記入してください。*

*また，観点を項目立てするなど，適宜工夫して記入してください。*

*なお，研究中断のために生じた研究への影響について，特筆すべき点がある場合には記入してください。*